

平成28年度取組状況

ものづくり工学科 一般科目 教授 澤田 一成

取組状況	
教育	<p>学生一人ひとりに自学自習の習慣をつけさせるため、授業の事前課題と復習課題を配布するとともに、小テストの添削指導を通して復習のための助言・支援を継続した。学生の授業評価アンケートによると、予習や復習に努めたと回答している自己評価の平均点は、2300クラスで3.29、3100クラスで3.49、3300クラスで3.22（いずれも4点満点）であり、授業時間外の学習習慣が身につけてきていることがわかる。また、小テストは年間で30回以上実施し、学生ごとに今後の復習項目の助言を与えることができた。その結果、この科目に対する力がついたと回答している割合は、2300クラスで3.51、3100クラスで3.54、3300クラスで3.29であり、総合的な満足度も2300クラスで3.56、3100クラスで3.67、3300クラスで3.37（すべて4点満点）であった。1年間続けてきた取り組みが成功していると評価できる。来年度以降もこの取り組みを継続していく。</p>
研究	<p>今年度もボーイスカウトの教育法である「プロジェクト法」のエッセンスを取り入れた授業を展開してきた。学習項目をより深く習得させるためには、学生一人ひとりが自らの理解度や達成度を把握して、自己分析し、必要なサポート（復習）を行うことであり、その原動力になるのは「学びへの喜び」である。それを達成するために「振り返りプリント」は非常に効果が高いことが実感された。教育論文としてまとめるために、来年度以降も効果測定を継続する。</p>
社会貢献	<p>千葉県連盟副コミッショナー、日本連盟副リーダートレーナーとして、成人の特性を踏まえた成人訓練のあり方とその手法を学習する機会を得た。残念ながら、ティーチングポートフォリオ作成ワークショップの支援をする機会は得られなかったが、今後も研修等で培った成人訓練の理論を後輩教員の支援に活かして本校の教育力向上に努めていきたい。</p>